

Collabo

1面: 団体交流会開催しています  
2面: 市民活動フェスティバル追加募集のご案内  
3面: センター機器のご紹介、2色刷りのコッ  
4面: NP の現場から、団体紹介  
5面: NP の現場から、団体紹介  
6面: 蔵書紹介、お知らせ、他  
発行 こくぶんじ市民活動センター  
発行日 平成22年10月1日

# 団体交流会開催しています！

今年度から始めた「団体交流会」、すでに6回開催されました。  
毎回テーマを決め、ざっくばらんに意見を交換し合い、  
団体同士の交流も深めています

## 〔今まで話し合われた内容〕

- ・センター移転に伴う「お披露目会」
- ・各団体の活動紹介 ・センターへの意見・要望

- ・提案型協働事業の手続き（方法等）
- ・公共施設の利用方法と使い勝手など

- ・市民活動入門講座の紹介
- ・センターの運営について意見交換

- ・ひとつの団体をピックアップし、悩みなどを共通の課題として話し合う

- ・来年2月開催の市民活動フェスティバルについての意見交換等

## 〔今後の予定〕

- 10月 6日(水)14:00～16:00
- 11月11日(木)18:00～20:00
- 12月 1日(水)14:00～16:00

〔団体交流会の運営〕 この事業は公募型協働事業です

主催 : こくぶんじ市民活動センター

協働パートナー : NPO法人市民テーブルこくぶんじ

“市民活動フェスティバル”参加団体を募集しています！詳しくは2面へ

# 第5回市民活動フェスティバル 出展団体募集中！

開催日 平成23年2月27日(日) 10時～16時

昨年同様、ひかりプラザ1階体育室と2階フロアで開催します。  
ステージや、ブースで、調理実習室で団体のPRをしませんか！  
一緒に盛り上げてくださる団体を募集しています。

締切は、今年10月末

出展を希望される団体は10月末までに、メール・電話・ファックス・または  
直接センターまで「団体名、連絡者名、連絡先」をお知らせください。  
出展いただけるのはセンターの利用登録団体で、実行委員会（フェスティバル  
の準備運営）に参加できる団体です。

インターンシップで、東京経済大学経営学部流通マーケティング学科の  
板橋彩さんが協働コミュニティ課・市民活動センターに来られました！



私は8月に5日間、協働コミュニティ課でインターンシップをさせていただきました。国分寺市役所でのインターンシップに参加させていただこうと思った理由は、普段は一市民という立場でしか知らなかった市役所の業務を、働いているという立場から見てみたいという思いがあったからです。

また、市民と市役所がどのように関わっているのかを業務を通して知りたかったので、協働コミュニティ課を希望させていただきました。

今回のインターンシップでは会議・職員研修の見学や市民塾へ参加させていただくなど、たくさんの貴重な経験をさせていただきました。その中でも一番心に残ったのが団体交流会と市民塾です。そこでは市民活動団体の方々が、今、抱えている問題や現状をより良くしていこうという気持ちを皆さんの発言から感じる事ができました。また、市役所の職員に熱心に質問や意見を

をぶつけている姿も印象的でした。一方で、職員の皆さんとさせていただいた事務作業一つ一つが社会人の仕事ということを感じる体験をさせていただくという良い機会になりました。

協働コミュニティ課で実習をさせていただいて、市役所が市民と協働という形で関わるという、今まで私が知らなかった市役所の一面を見る事ができました。そして、それまでよく知らなかった国分寺市のことを市民活動の面から知る事ができました。また実習を通して自分が社会人になるにあたって現時点で足りない部分も分かりました。

5日間は本当にあっという間でしたが、インターンシップに参加して良かったと思える充実した経験になりました。

市民の皆さん、職員の皆さん、ありがとうございました。(板橋 彩)



## ご存知ですか？ センターでご利用いただける機器について

センターでは、会報や資料作りなど、登録団体の皆様にお役立ていただけるように、下記の機器を配置しています。使用料は無料です。どうぞご活用下さい。

( 複写や印刷に使用する用紙類、ラミネートフィルムはご持参下さい )



### ノートパソコン

インターネット接続！  
調べものが出来ます  
Word, Excel ( 2003 )



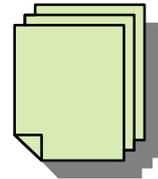
### コピー機

モノクロコピー  
複写用紙 ( 定形 )  
はがき ~ A 3 サイズ



### ラミネーター

A 3 サイズまで対応  
ラミネートフィルムは  
ご持参ください



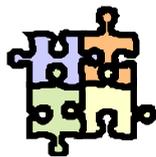
### 大型ホッチキス

最大綴り枚数 : 130 枚  
( P C 用紙の場合 )



### 印刷機

高速デジタル製版  
2 色刷 ( 赤、黒 )  
予約が必要です



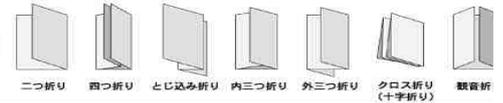
### 強力 2 穴パンチ

穴あけ枚数 130 枚  
( P C 用紙の場合 )



### 裁断機

A 3 サイズまで可  
一度に 40 枚程度  
( P C 用紙の場合 )



### 自動紙折り機

A 5 ~ A 3 サイズ対応  
速度 100 枚 / 毎分  
連続運転は 15 分まで

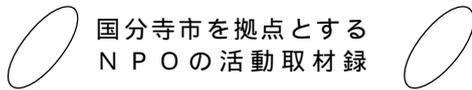
## もうお試しになりましたか？ 2 色刷り印刷

モノクロ印刷は慣れているけれど、2 色刷り印刷は難しそう・・・と躊躇なさっている方も多いのではないのでしょうか？ きれいに仕上げるには、パソコン作成のデータからの印刷がおすすめです。パソコンで作成したデータを U S B メモリー等に入れて、いざセンターへお出かけください。

原稿作成の注意点 ( パソコンから 2 色刷り印刷する場合 )

- 1 . 原稿 ( Windows の Word、Excel ) は必ず 97 ~ 2003 形式で保存してご持参ください。
- 2 . 赤と黒のバランスを考えてください。赤を多用しすぎると読みにくくなる場合があります。
- 3 . 網掛け文字、写真、イラストなどはイメージ通りに印刷できない場合があります。
- 4 . パソコンに入力したデータを U S B メモリーなどに入れてご持参ください。

モノクロ印刷・赤色の単色印刷についても、パソコンで作成したデータで直接印刷する方が鮮明に印刷ができます。



**シリーズ・NPOの現場から**

**国分寺ハンディキャブ運営委員会**

並木町にある事務所の手前の駐車場には、本体の両脇とボンネット正面に“国分寺ハンディキャブ運営委員会”という名前が書かれた車両が何台も駐車していて、事務所では電話の応対や書類の整理など、忙しく働いて、活気に溢れていました。

この会は来年で設立30年を迎える歴史ある会です。国分寺ハンディキャブ運営委員会という団体名称の意味についてお尋ねすると、「同じ志を持った仲間が協力して運営していこうという意味で“運営委員会”と付け加えました」とのことでした。

当初から有償のサービスとしてスタートしたのですが、その背景には、何よりも外出がままならない方に、いつでも外出する機会を提供し、心豊かな生活を送っていただき、社会参加を果たしていただきたい、そういう社会を作りたいとの強い思いがあり、そのためには利用者が使いやすいときに使える、利用しやすい仕組みが必要だと考えた結果だったそうです。

スタートしてみると、この移送サービスにはたくさんのニーズがあることが分かり、幸先よいスタートをきれました。ただ、最初の頃は様々なご苦労も多かったようです。

しかし、この阿部代表の真摯な強い思いがこの会を支えてきました。その思いは、会報誌の『みんなで街へ』という形で社会へ継続して発信されています。(この会報はホームページでも閲覧できます。)

会の運営については、「運営は利用者の方々と接することが多いドライバーだけでなく、事務員、コーディネーター、会の運営に賛同してくれる人、そして利用者の方たち、みんな平等で大切な役割を持ったたくさんの方たちに支えられている」。また、市の理解もあって、補助金も受けているという話もされていました。

そして、「今、自分たちの会では、1週間前までに利用予約をいただいているが、本来は障害を持っている方でも、いつでも行きたいところに行ける、というサービスを提供したいと思っていますし、そんな世の中を作りたい。」という力強いメッセージをいただきました。

取材を終え駅に向かう途中のことです。なんと、ちょうど先ほど取材に行ってきたばかりの“国分寺ハンディキャブ”の車から降りられたお年寄りを、車椅子に乗せて移動している現場に出くわしました。思わず、心から応援したくなりました。なんだか不思議な感動につつまれ、暑さもどこかへ飛んでいきました。

連絡先：TEL.042-321-3901 FAX.042-321-3902 HP <http://homepage3.nifty.com/handycab185/>

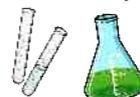
**団体紹介コーナー**

団体紹介  
随時募集中！

**「みずとみどり研究会」**



みずとみどり研究会とは、水と緑を総合的・広域的に保全し、水循環のバランスのとれたまちづくりをめざして、市民、行政関係者、企業関係者、専門家が協同して活動している任意団体です。意識や価値観、立場も異なる個人が集まり、意見を出し合います。その中から協同作業を積み重ねて合意づくりをめざしていきます。そのために3つの原則（自由な発言、徹底した議論、合意の形成）を定め、それにそったルールに基づいて、つねに開かれた形で運営しています。



**【主な活動】**

<p>1. 定例会の開催</p> <p>テーマにあった専門家や市民を講師としてお招きして会員に限らず学生や市民も参加できる勉強会を毎月開催</p>	<p>2. 身近な川の一斉調査</p> <p>多摩川流域の様々な市民団体と協同で多摩川水系の一斉の水質調査を実施（今年で22年目）</p>	<p>3. その他</p> <p>環境保全にかかわるプロジェクトを挙げて活動</p>
---	---	--

問合せ・連絡先：みずとみどり研究会 事務局 佐山まで  
TEL/FAX 042-327-3169 E-mail [mizutomidoriken@ybb.ne.jp](mailto:mizutomidoriken@ybb.ne.jp)

## シリーズ・NPOの現場から

## プレイセンター小さな森

「プレイセンター小さな森」は、0～3歳児とそのお母さん、妊娠期の方をメンバーとした“親達による子育て活動の場”です。開設したのは、30年の保育士経験を持つ代表の渡辺さん。渡辺さんは保育士になる以前より「子育てには何が必要なのか」という問題を模索し、日本だけでなく海外での子育ての現場も数カ国に渡り見てこられました。そしてニュージーランドで60年の歴史を持つ「プレイセンター」の“家族と一緒に成長するための親達による子育て活動の場”に共感し、2年前に自宅を開放して「プレイセンター小さな森」(以下「小さな森」と省略)を立ち上げました。

「小さな森」の活動は、「プレイセンター」の理念に基づき“子ども達の豊かな遊び”(子ども自身がやりたい時に、やりたい遊びを選んで遊べる環境)、“ステップアップママ”(子どもの遊びを最適にサポートするために必要な知識や方法を身に付ける - お母さん達の勉強会)、“みんなで運営”(参加する全ての大人が協力し合い、責任を分かち合う)の3本柱で展開しています。

「小さな森」に一步足を踏み入ると、0～3歳の発達段階に合わせたおもちゃが整然と並んでいるのに驚かされました。中にはお母さん達の手作りのおもちゃも並んでいました。子どもの成長は“豊かな遊び”を土台とし、この土台の上に長い学業生活が重なり、やがて職業生活へ、そして自立した大人へとつながっていきます。そのためのしっかりとした土台作りを「小さな森」では実践しています。

親達の学びの場である“ステップアップママ”では、「プレイセンター」の日本版テキストを使った勉強や、「小さな森」の運営に関する意見交換も行われるそうです。“みんなで運営”していくための役割分担を決めて、無理なく楽しく同じ時間を過ごす。そうした大人たちの協力し合う姿は、子ども達にも良いお手本となっています。

「小さな森」とは様々なものが育っていく「森」をイメージして付けた名前だそうです。参加希望者が増えて自宅だけでは手狭となり、今年6月からは、もとまち地域センターでも同様の活動を開始しています。しかし、ここも希望者が定数を上回ってしまい、今後のより良い活動方法を模索しているところです。

「ここに集まった親も子も一緒に育ち合うことで、大きな家族のような信頼関係が出来、子育ても協力しあえる関係が育ってくれたら」と話す渡辺さん。「その輪が子どもの成長とともに地域へと広がれば、今よりも安心して子育てが出来る地域社会になっていくのでは…」という希望を持って、ここに少しでもお手伝いができたらと活動をしています。

連絡先 プレイセンター小さな森 渡辺 金子 042-324-5777



(中央にいるのが渡辺さん)  
親子で一緒に手遊び

お昼はお母さん手作りのお弁当  
子供達の食べっぷりも違います！



## 団体紹介コーナー

団体紹介  
随時募集中！

## 「国分寺子どもクラブ」

国分寺子どもクラブは、1979年に創設された(翌1980年に正式発足)国分寺市に住む中学生までの障害児と健常の兄弟・姉妹と月に2～3回遊ぶ会(例会)を企画・実施している団体です。

例会は、国分寺市内の公民館等での工作やお料理、都内施設(科学館等)へのお出かけ、公園(昭和記念公園)で思い切り遊ぶなど様々な企画が行われ、また、秋の運動会・クリスマス例会と季節を取り入れた企画も行っています。さらに、夏休みには1泊2日で遠出する夏合宿を行っています(今年は横浜市、中華街・みなとみらい等へ行きました)。

子どもと遊ぶメンバー(スタッフ)は、国分寺市近辺にある津田塾大学・東京学芸大学・東京経済大学・一橋大学の大学生を中心とし、およそ80名の仲間と活動しています。また、例会の打ち合わせやスタッフ間の交流を図るために、スタッフは、毎週火曜日の19時から本多公民館において話し合い(スタッフ会議・右写真)を行っています。



ホームページアドレス：[http://www.geocities.jp/kokubunji\\_kodomo/index.html](http://www.geocities.jp/kokubunji_kodomo/index.html)

## センター蔵書紹介コーナー



書籍名・・・『町屋と人形さまの町おこし  
地域活性化成功の秘訣』  
著者・・・吉川 美貴(きっかわ・みき)  
出版社・・・学芸出版社 2004年発行

ずばり、必読の書です。単なるハウツー本ではありません。

新潟県村上市の町おこしを実行した吉川真嗣(きっかわ しんじ)氏の奥様である吉川美貴さんによって書かれた町おこしの実話、ドキュメンタリーなのです。そして、ここに描かれているのは「企画そのもの」の本質なのです。この中の文言のひとつひとつが、志があってそれを果たしたいと切に思っている人にとって、実に強力な動機付けになる=背中を押してくれる=と思います。

実はかく言う私は、企画の現場にあって、どうしたら人が動き、成功に導くかを実践し、その苦勞が骨身に沁みてきた人間だからです。

実行し、現場に密着した人だからこそ書ける町おこしの秘訣です。繰り返し、繰り返し読めるドラマが待っています。

書籍名・・・宮崎市ボランティアガイドブック  
『とべたら いいな』  
出版・・・宮崎市企画課 2000年発行

このガイドブックは「入門編」、「実践編」、「情報編」の3冊で1セットになっています。内容は次の通りです。

- ・入門編 「糸原(いとばる)日記」  
地域での助け合いの日常を、ほのぼのとしたタッチで紹介しています。
- ・実践編 「人を紡ぐ(つむぐ)」  
きらきら輝く活動をされている魅力的な人物にスポットを当て、熱いメッセージと共に、その「生きざま」といったものまで紹介しています。
- ・情報編 「共生社会をめざして」  
それぞれの思いや関心から、地域の様々なニーズに取り組むボランティア活動団体を紹介しています。  
なにしろ、写真の顔がどの方もすごくいきいきしていて楽しそうです。こちらのほうまで元気になります。ぜひ、ご覧ください。

## お知らせ

### 【 市民活動の相談会を行なっています 】

法人設立、助成金情報、日頃の活動の悩みなど・・・、何でもご相談ください。

10月の日程は・・・ 8日(金)15:00-17:00

14日(木)13:00-15:00 27日(水)14:00-16:00

### 【 センター臨時休館のお知らせ 】

市役所庁舎の停電に伴い臨時休館します。

[ 臨時休館日 ] 10月30日(土)

### 【 市民活動マネジメント講座 】

第1回 11月16日(火) 14:00~16:00

会場 国分寺Lホール 参加費 無料

講師 森反章夫さん(東京経済大学現代法学部教授)

テーマ 「生活より始めるまちづくり」

### 【 土日・祝日も開いています 】

センターは土日・祝日も開館しています。ぜひお越しください。なお防犯のため、第三庁舎入口の自動ドアは手動にしていますのでご承知おきください。

### 編集後記

こらぼ22号は、より多くの活動団体をご紹介したいと思い、盛り沢山な内容となりました。ご協力いただいた団体の方々、ありがとうございました。今後もどんどん登録されている団体を紹介していきたいと思います。ご協力いただける団体の方は、是非スタッフまで声を掛けてください!(しろ)

発行・編集 こくぶんじ市民活動センター(国分寺市役所 協働コミュニティ課)  
〒185-8501

東京都国分寺市戸倉1-6-1 第三庁舎1階

Tel 042-208-3636 / Fax 042-328-1311

E-mail kccpc@jcom.home.ne.jp

http://www.collabo-kokubunji.com

開館時間 9:00~17:00 年中無休(ただし年末年始を除く)

平成22年10月1日発行

